



子育て世帯臨時特例給付金の給付



合併10周年記念式典



飛騨春慶弦楽器コンサート(東京都内)

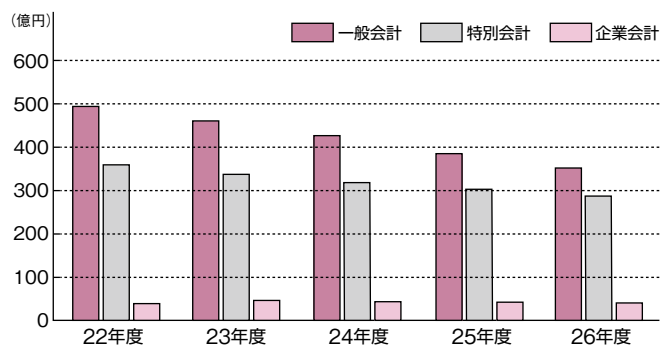


平和に対する意識の普及啓発

特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険事業(事業勘定)	102億2,604万円	102億912万円	1,693万円
国民健康保険事業(直診勘定)	4億9,945万円	4億3,500万円	6,445万円
下水道事業	36億7,615万円	36億2,512万円	5,103万円
地方卸売市場事業	3,179万円	2,770万円	409万円
学校給食費	3億9,925万円	3億9,918万円	8万円
簡易水道事業	6億1,546万円	5億5,594万円	5,952万円
農業集落排水事業	6億9,154万円	6億2,343万円	6,810万円
介護保険事業(保険事業勘定)	88億2,379万円	86億7,002万円	1億5,377万円
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	5,867万円	3,272万円	2,595万円
観光施設事業	1億3,544万円	9,519万円	4,025万円
後期高齢者医療事業	10億7,457万円	10億2,192万円	5,266万円
計	262億3,215万円	256億9,533万円	5億3,681万円

市債(借りたお金)の累積状況



	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
一般会計	487億6,618万円	455億1,250万円	422億8,657万円	388億6,809万円	354億5,259万円
特別会計	357億2,304万円	334億1,585万円	317億1,310万円	302億5,161万円	287億8,316万円
企業会計	40億7,412万円	45億903万円	43億5,347万円	41億9,744万円	40億2,979万円
計	885億6,335万円	834億3,738万円	783億5,314万円	733億1,713万円	682億6,555万円

市民一人あたりの市債残高(一般会計)

389,855円

平成25年度から34,447円減少しました

※数値は万円単位の表示であるため、端数処理(四捨五入)により計が合わない場合があります。

基金(積み立てたお金など)の状況【一般会計】

基金の名称	26年度末	25年度末	増減
財政調整基金	228億4,390万円	209億729万円	19億3,661万円
職員退職手当基金	35億3,462万円	37億4,066万円	△2億604万円
庁舎整備基金	7億3,922万円	7億3,654万円	268万円
減債基金	55億9,961万円	55億7,657万円	2,304万円
まちづくり基金	45億1,159万円	45億2,051万円	△892万円
飛騨高山ふるさと基金	7,617万円	7,916万円	△300万円
21世紀「夢」基金	4億2,498万円	4億2,345万円	152万円
国際交流基金	1億円	1億円	0
交通・火災・災害基金	1億138万円	1億150万円	△11万円
高額療養費貸付基金	2,183万円	2,177万円	6万円
福祉健康基金	19億3,041万円	19億1,486万円	1,555万円
福祉金庫基金	2,855万円	2,854万円	1万円
高齢者等住宅改修資金貸付基金	3,047万円	3,038万円	10万円
災害基金	7,637万円	7,611万円	27万円
ごみ処理施設整備基金	23億2,078万円	17億1,386万円	6億692万円
農業後継者育成基金	2億75万円	2億75万円	0
ふるさと農村活性化基金	3,918万円	4,100万円	△182万円
緑の基金	12億7,183万円	12億8,076万円	△893万円
商工振興基金	7,123万円	7,049万円	75万円
観光振興基金	1億1,502万円	1億1,351万円	152万円
観光施設整備基金	3億7,796万円	3億7,662万円	134万円
交通安全施設整備基金	364万円	364万円	0
土地開発基金	9億8,175万円	10億9,935万円	△1億1,760万円
市営駐車場整備基金	3億9,907万円	3億8,194万円	1,713万円
市営住宅敷金基金	4,044万円	4,102万円	△58万円
消防設備基金	589万円	589万円	0
教育振興基金	3億5,544万円	3億5,409万円	136万円
市民文化会館土地取得基金	310万円	309万円	1万円
文化財等公有振興基金	2億737万円	2億658万円	79万円
スポーツ振興基金	3,366万円	3,366万円	0
畜産振興基金	3,398万円	2,091万円	1,307万円
育英資金貸付基金	5億9,612万円	4億9,492万円	1億120万円
計	470億7,632万円	446億9,940万円	23億7,692万円

基金(積み立てたお金など)の状況【特別会計】

基金の名称	26年度末	25年度末	増減
国民健康保険財政調整基金	3億2,755万円	5億539万円	△1億7,783万円
公設地方卸売市場整備基金	1億8,945万円	1億8,872万円	73万円
高額介護サービス費貸付基金	251万円	251万円	0
介護保険財政調整基金	5億248万円	3億9,292万円	1億956万円
計	10億2,200万円	10億8,954万円	△6,754万円

● 経常収支比率

財政構造の弾力性を表す指標で、人件費や扶助費、公債費といった必ず支払わなければならない固定経費が、市税や地方交付税などの使途を特定しない経常的な収入に対してどれだけを占めているのかをみるものです。

率が低いほど臨時的な経費にお金が回せることになり、(80%が健全財政の上限で、それ以上になると財政が硬直化しているといわれます)。

高山市は合併直後85%になりましたが、平成26年度は77.9%となり、率を下げています。

● 公債費負担比率

財政運営の硬直性を表す指標で、率が高いほど財政が硬直化していることを示します(20%を超えると財政運営上の危険ラインであると考えられます)。

高山市は合併直後20.6%になりましたが、平成26年度は15.6%となり、率を下げています(借金返済に占める割合が減っています)。

問合先 財政課 ☎35-33132